

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

平成 29 年度病害虫発生予察注意報第 2 号を発表したので送付します。

平成 29 年度病害虫発生予察注意報第 2 号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 害虫名 メイチュウ類 (イネヨトウ)
- 3 発生地域 久米島
- 4 注意報発令の根拠
 - (1) 防除員による 6 月下旬の春植及び株出ほ場での芯枯調査 (全 10 ほ場) の結果は、芯枯率 4.9% であった (表)。
 - (2) 久米島における 6 月上旬の切開調査の結果、人当たり 5 分当たり幼虫数は 0.5 頭で、確認されたメイチュウ類幼虫の全て (100%) がイネヨトウであった (表)。
 - (3) ほ場内のイネ科雑草 (オヒシバ) から、イネヨトウが確認された (図 2)。
- 5 発生生態および被害
 - (1) イネヨトウ (図 1)
 - a 沖縄では年 5 ~ 7 世代を重ね、周年発生する。
 - b 卵は葉鞘の裏側に卵塊で産み付けられ、1 雌当たりの生涯産卵数は 400 ~ 700 卵に達する。
 - c 初期被害はほ場周縁部で見られ、ほ場内でスポット状や畝に沿って被害が拡大する。被害が集中的に起こるため、生育初期に加害されると坪枯れを起こすこともある。
 - d 被害ほ場およびイネ科雑草地が発生源となり、ほ場に侵入する。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) ほ場および周辺の除草を徹底する。
 - (2) 発芽揃期から有効分けつ期の芯枯れを防止するため、食入初期の幼虫を対象に薬剤防除を行う。
 - (3) 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液が浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し、降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
 - (4) 薬剤防除後、2 ~ 3 週間において再度防除を行うことで防除効果が高まる。
 - (5) 培土時には土壌害虫の防除を兼ねた薬剤 (粒剤) を選択し施用する。
 - (6) 被害の多い地域では薬剤による一斉防除を行う。

表 6 月調査結果 芯枯率と切開調査による幼虫数率およびイネヨトウの割合

地域名	芯枯率 (%)	幼虫数/人/5分	イネヨトウの割合 (%)
沖縄本島	0.9	0.7	1.7
久米島	4.9	0.5	100



図1 イネヨトウ幼虫



図2 ほ場内の雑草(オヒシバ)から
見つかったイネヨトウ

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0908-82-4933

ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojjo/index.html>